

総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会
省エネルギー小委員会建築物エネルギー消費性能基準等ワーキンググループ及び
社会資本整備審議会建築分科会建築環境部会建築物エネルギー消費性能基準等小委員会
合同会議（第13回） 議事要旨

1. 日時 令和元年10月24日（木）10:00～12:00

2. 場所 中央合同庁舎3号館4階特別会議室

3. 出席者

＜省エネルギー判断基準等小委員会＞

田辺委員長、秋元委員、伊香賀委員、清家委員、澤地委員、鈴木委員、前委員

＜建築物エネルギー消費性能基準等ワーキンググループ＞

川瀬座長、田辺委員、井上委員、中村委員、山下委員

本松オブザーバー、本荘オブザーバー、岡田オブザーバー、小泉オブザーバー、布井オブザーバー、加藤オブザーバー

4. 議題

①「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令案等」に関するパブリックコメントの結果概要及びこれに対する対応等について

②その他

5. 議事要旨

議題①・②について以下のとおり審議が行われた。

議題①「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令案等」に関するパブリックコメントの結果概要及びこれに対する対応等について

資料2、3、4について事務局より説明を行った。当該資料に対する主な意見は以下のとおり。

- ・国が高い目標を設定して省エネの取り組みを進めていくとともに、平行して未評価技術の評価が出来るように整備をお願いしたい。
- ・簡易計算の運用について、WEBプログラムもようやく現場に根付いてきたところ。あくまで詳細計算が前提にあるということを共通認識とし、説明を徹底してほしい。新しい技術の評価するのにもベースとなるのは詳細計算。詳細計算を充実させるために、WEBプログラム開発体制強化等も課題。
- ・法律上やWEBプログラム、簡易計算上等において様々な単位が出てくる。使用している言葉が異なっても共通の認識になるよう説明を行ってほしい。
- ・脱炭素化の目標達成に向けてやはり根底になるのは省エネの取組。優秀な事業者が他の先導となるように取組を進めていってもらいたい。
- ・講習会等ではQ & Aを取りまとめる等して丁寧な説明をしてほしい。
- ・新しい技術について省エネ評価が2年間反映されないのは厳しい。床暖房の評価等の未評価技術の評価について具体的にスケジュール感を示してほしい。
- ・パリ協定の達成にあたっては、既存ストックの改修も大切なので検討をお願いしたい。

議題②その他

審議終了に伴い事務局より挨拶を行った。

[問い合わせ先]

経済産業省資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課
TEL：03-3501-9726
FAX：03-3501-8396